

被災地の食をみつめる

秋たけなわ。「食欲の秋」。食卓には食欲をそそる秋の味覚が添えられる日が多くなってきます。原発事故から8年と7ヶ月を迎えた福島・宮城の食を見つめます。

全国有数の農業県福島では… 農家人口3分の2に減少：米の価格も低迷続く

震災前に農業を営んでいた人口は全国3位。米や桃などの果物、野菜の生産が多い県でしたが、原発事故後は県全体では耕地面積が17%・農業人口は32%減ってしまいました。もちろん減少率が一番高い川内村や広野町など避難指示が解除されふるさとに帰ってきた地域では、耕地面積は48%、農家は56%減ってしまいました。それでも復興の証として、私たちの食を支えるために米や野菜・果物生産に励み放射線量の検査結果「基準値超過なし」の安全な農産物を市場に送りだしています。しかし、米や野菜など「心配なし」の結果がでて、風評被害の影響は免れずに福島県産のお米の価格は全国平均水準を下回り続けています。もちろん、山菜やきのこの汚染がなくなるには何世代も先になります。

全国有数の漁場気仙沼では… 秋刀魚の水揚げ大幅減少の中で、秋刀魚祭り開催

水産業が盛んな気仙沼は、かつおの水揚げでは全国1位、秋刀魚は3位。

しかし、震災では漁船も水産加工場も魚場の養殖施設も甚大な被害に

見舞われ復興には時間がかかっています。今年は、秋刀魚の水揚げが少なく

9月末の秋刀魚祭りの開催が危ぶまれていましたが、9月29日開催できました。



中学1年生宿題より

「自分たちが作った新米でおにぎりをにぎる」 清水萌子

東日本大震災で大きな被害を受けた気仙沼市のふりかけを、ハート型のおにぎりにかけることで、「協力し合う心」が大切だという想いをこのおにぎりに詰め込みました。ハートのおにぎりはたくさんの人の思いが込められています。❤️ ふりかけは文化祭のバザーで買いました！

